

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～わが国の社会保障財源の課題、五年に一度の消費者物価指数基準改定の注意点を解説します。

- 2010/12/1 「拡大する社会保障給付費と財源確保 ～財源確保のため増税は不可避な状況に～」
2010/11/25 「消費者物価指数基準改定の影響～▲0.5%ポイント程度の方改定か。『高校授業料』がここでも攪乱要因に～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～米国雇用統計の見方を解説し、米経済の先行きを展望します。

- 2010/12/2 「経済指標とマーケット2～米雇用統計～」

掲載カテゴリ：鳥峰義清の「マーケットウォッチング」

～暮らしに豊かさが実感されにくくなった背景を分析します。

- 2010/11/24 「なぜ、家計は貧しくなったか(若者編)～若者に人的投資を増やさないと成長基盤は弱体化する～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～景気変動への影響が注目される気象と経済の関係について分析しています。

- 2010/11/22 「拡大傾向にある気象の景気影響 ～予想される猛暑反動と寒波特需、花粉増加や穀物高騰にも要注意～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～金融緩和政策を進める米国、財政不安に身構える欧州、成長続くアジアについて解説しています。

- 2010/11/29 「米国 2010、2011、2012年経済見通し～大幅な需給ギャップが残存するも、海外需要に支えられ緩やかな成長維持～」

- 2010/12/1 「欧州 欧州財政危機は新たな局面へ～ドミノ倒しの財政不安国の連鎖から、ユーロ圏全体の危機に波及する瀬戸際～」

- 2010/11/30 「インド経済事情：内需をけん引役に好調な景気が続く～農業や製造業の拡大が景気を支える。当研究所は経済成長率見通しを上方修正～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も、皆様のお役に立つレポートが提供できるよう努めます。これまで同様、第一生命経済研究所ならびに経済研レポートをよろしく願いいたします。



今年も相場の干支の格言を。昨年のは「千里を走り」。ギリシャ危機では財政リスクが、金融緩和でリスクマネーが国境を越えて走った。さて卯年相場は「跳ねる」。去年は円が跳ねたが、今年はいったい何が跳ねるのか油断ならない。日本経済はデフレ脱出に弾みがほしいところだが、年前半の景気は踊り場が予想されている。やがてやってくる辰年、巳年の格言はもう「天井」だ。政策の舵取りに時間の余裕があるわけではない。世界の動向に耳をそばだてて先を急ぎたい。 (H. U)